方城

第五巻　第七號

方城村公民館図書館
発行所　方城村公民館
編集発行人　荒木良和
印刷所　冷牟田印刷合資会社
八幡市折尾町国道筋

社會教育の必要性

方城村公民館長　松井肝太

何時の時代にも社会浄化は先覚者に叫ばれて来た。文化も低く人口も尠く衣食住も一通り満足の出来た時代は比較的人心も安定し、各自の職分も満足が出来たが、生活が高度化あれ、生存競走が激化されると人心も動揺しがちである。今日では僅かに学校教育や読書により常識の涵養がはかられているとはいえ、これのみでは大衆の真の教化は斯し得ない。

戦前に於ても有識者に社会教育は強く叫ばれて、国も県も市町村にも社会教育の機関を設置し、或時は全村学校の名のもとに、又或る時は各種団体の育成に相当活溌な動きをしたが大概上意下達式であつた。

当時は日本もまがりなりにも世界一等国と国も個人も自負していたので社会の秩序も維持され道徳も守られて人口も経済もバランスが保たれていた。

次で九ケ年のみじめな戦争に国の総てが犠牲を強いられ、戦勝の目標のため不平も不満も只管忍従の生活であつたが一度ミズリー艦上の無条件降伏は希望も秩序も道徳も只混乱のルツボと化した事は吾々の生しゃい体験で多くを語るを要しないが、今日程真の社会教育の必要性が強調され又金力を傾注すべき時代はあるまい。

その意味で公民館活動こそ真に今日社会の要求する最重要な施設である人と施設と相待つて完全なる社会教育推進の母体となり、現今の混乱せる世情の浄化に日夜不断の努力を続け、公民館活動即日本再建の基盤と理念で研究に実行に村民一段の決意を深くし、その使命を全うすべきである。

夏の犯罪と防犯心得について

門田巡査

裸の世界、暑熱の夏、この季節は生活環境が開放的であると云う事に伴い比較的多く発生する犯罪がある。それは、性に関する事件「すり」及空巣狙等である。

亦忍び込みも多く、兎にも角にも物騒な世の中である。我々は常に泥棒共より狙われて居るものである。

警察は御承知の様に先に配布した通り夏季特別警戒を実施して、強力に防犯態勢を推進して居るのであるが、何分にも事件続中の折柄充分皆様の御期待に副い得ぬのが、実情とあつては敢へて馬言を以つて皆様の御注意、御協力を願い、こゝに二、三の実例を以つて夫々注意事項を述べませう。

一、性犯罪について

某工場に勤めて居る田中T子さんは六月某日帰途友達の処で遊んで、つい遅くなり午后十一時三十分頃になつた。何時もは安全な表通りを通るのに「今夜は大分遅くなつたから近道をしよう」とくらい裏通りを心急ぐまゝに足を早めた。

あと百米したら我家に着くという処で突然後方から一人の男が襲いかゝり無言でT子さんを引倒し、暴行を加えようとした。驚いたT子さんは、必死になり逃れようと、もがいたが、男の腕力には抗し切れず、あわやと思はれたが、その時突差の機智で男に「こゝは人が通りますからどうか、他の場所に行きましよう」と話しかけた、男は鼻の下長男である「そうか、よし」と云つてT子さんの手をとつて起した。その瞬間、彼女は脱兎の如くかけ出しながら、大声で「助けて」と救いを求めた。幸なるかな丁度その時、近くを通りかゝつた青年にかけつけて貰つて、その場で危機一髪、男も捕り、彼女も無事に助かつたのである。

之等の例は枚挙にいとまないのである、之を参考に世の女性に提供する。

1、夜間の一人歩きは絶対せぬ事。遠い道でも努めて明るい安全な道を選び、二人以上連れ立つて歩く事。

2、乗物や映画館などで殊更に接近してくるやうな男は痴漢が「すり」と心得え、席を移動するなど充分注意する事。

3、見知らぬ男から話かけられた時は甘い口車に乗らぬようにする。

4、盛夏期は服装が簡易化し、挑発的になりがちで、種々の犯罪を誘発するから身だしみに気をつける。

5、窓下や外部から見透しの利く場所での昼寝や添寝はせぬ事。

6、追尾されていると気が付いたら痴漢か剥盗と心得て最寄の警官に届出るか、又は適当な措置をとり難をさける事。

7、帰り道などでなれ〳〵しく近寄りてくる様な男は「送り狼」と考え気をつける事。

8、万一不良や盗漢に襲はれた場合は臨機応変な措置で賊の「すき」をみて逃げだすか、或は附近の家に飛び込んで救いを求める事。

（以下次号）

七月におもう

長尾生

七月十八・十九・二十の三日間公民館主催で、農村婦人の農産加工、生活改善の講習会開かる。出席人員一〇名足らず、私は知らなかつた。行きたい者が行けでは公民館は誰れのものやら、何を作るにも誰れのものかきめておかなくては徹底しないでは困る。

清き一票をお願いしますと頼まれた選挙、いつ村会があるのか、農業委員会は何をしているのか「今日村会だ」それで〇〇さんが通つていたのでは困る。議会は議員のいい様に俺は知らない、守らぬ、税金は払わぬでは村がゆかれない。

何の役に立つか農業会館の実験室・肥料検定で大学出がいなくてもものになつたおえら方、にわか輸入より土地にあうように作り上げたものでなければ、だめなのは作物だけではなく人間もそうだ。